

# 中小事業者のAI活用支援による企業DXの推進

増田 嶺<sup>1</sup>, 藤原 翔太<sup>2</sup>, 佐藤 わか葉<sup>2</sup>, 亀井 仁志<sup>3</sup>  
(創発科学研究科<sup>1</sup>, 創造工学部<sup>2</sup>, 情報メディアセンター<sup>3</sup>)

## 1. 背景

AIを導入したいがハードルが高い…

### 金銭面

- 高性能サーバ導入やクラウド費用は**高額**

### 運用面

- システム構築に**専門知識**を要求
- 継続的**なモデルトレーニングやシステム運用が必要

## 2. 課題

MLOpsは難しいAI管理の解決策  
しかし、依然高いハードル…

- 構築や運用手順が複雑
- クラウド利用が増えるとコストも増加 (GPU・ストレージは高い)
- そもそもMLOps自体が難解

容易に運用でき、コストも抑えられるMLOps基盤が必要！

## 3. 提案

ハイブリッドMLOpsで、  
運用の容易さとコスト抑制を両立！

### Point 1

MLOpsで開発運用サイクルを自動化

- 継続的なAI開発が可能

### Point 2

専門家による構築済み基盤で、学習コストなし

- インフラはMLOps管理者にお任せ
- 企業はAI開発と運用に専念

### Point 3

柔軟なリソース利用でコストを抑制

- ストレージやGPUなど、既にあるものを最大限有効に活用
- 他企業と共有すればより安価に

継続的なAI開発基盤を  
安価に運用可能！

